

令和4年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和5年6月20日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市民会館 函館市湯川町1丁目32番1号		
設置条例	函館市民会館条例		
指定管理者名	函館市文化スポーツ振興財団・コナミスポーツグループ	指定期間	令和2年（2020年）4月1日から令和7年（2025年）3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件		選定区分	<input checked="" type="radio"/> 公募 <input type="radio"/> 非公募
設置目的	市民の文化活動および集会等の用に供するため		
設置年月	昭和45年7月	建設費	671,230千円
構造規模等	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 建物延床面積8,051.30㎡ 大ホール1,370席，小ホール，大会議室，展示室，小会議室1号，小会議室2号，和室等		
開館時間	開館時間 午前9時～午後10時		
休館日等	休館日 年末年始（12/31～1/3），器材点検日（随時）		
料金体系	利用料金制の採用の有無 有（平成27年度～）		
<p>1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況</p> <p>(1)管理業務</p> <p>ア 施設の維持管理に関すること（清掃，警備，施設・設備保守点検，AEDの管理，備品管理等）</p> <p>イ 文化芸術を振興する事業の実施に関すること（鑑賞型事業，参加創造型事業，育成型事業，文化芸術活動に対する協力・奨励事業，ほか市の文化芸術の振興に資する事業等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞型事業（ゴスペラースタジアムツアー2022 “まだまだいくよ”，高嶋ちさ子～ゆかいな音楽会～，ざいだんアフタヌーンステージ2022（3回），キエフ・バレエ・ガラ2022函館公演，家族で楽しいコンサート「カポとみんなの音楽会」） ・参加創造型事業（函館市民文化祭 展示部門，舞台部門） ・育成型事業（函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ（育成事業，定期演奏会），ざいだん「邦楽こども教室」（通年コース，冬季短期コース），冬休み特別企画「楽器のひみつ大発見！」～リコーダー編～） ・奨励型事業（ざいだんアートマルシェ，スタインウェイを弾いてみよう！） ・共催事業（市民舞台芸術奨励事業委員会認定事業（3回），第40回公演初春巴港賑） <p>ウ 利用者に関すること（案内・説明，使用受付・使用制限，連絡調整，情報提供，苦情対応等）</p> <p>エ 利用料金に関すること（利用料金の請求，減免等）</p> <p>オ その他教育委員会が定める業務（生涯学習情報の提供，各種書類の整理保管，市への報告等庶務業務等）</p>			

カ ホームページに関すること（ホームページの開設，更新および維持管理）

(2) 自主事業

ア 文化振興事業

鑑賞型事業

- ・ 函館市市制施行100周年記念，NHK函館放送局開局90周年記念「NHKのど自慢」
- ・ 劇団四季ミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」函館公演
- ・ ざいだん出前コンサート（2回，会場：旧函館区公会堂，亀田交流プラザ）

イ チケット販売

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

ア 広報誌「ステップアップ」，ホームページ，地元マスメディア，施設リーフレット，ポスター・チラシによる広報活動

イ 苦情処理，緊急時対応の体制整備

ウ 職員研修の実施（新入職員研修，財団内研修（2回），管理職向けハラスメント研修，健康習慣アンケートに係るフィードバックセミナー，応急手当普及員講習，（公財）北海道文化財団令和4年度「舞台芸術ネットワーク会議」，普通救命講習（2回））

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア 利用者懇談会の開催（令和4年7月21日開催 3団体3名参加）

イ 施設利用者アンケートの実施（管理棟1階ロビーにアンケート箱を設置）

ウ 主催事業アンケートの実施（主催事業実施の際に来場者アンケートを実施）

4 施設の利用状況

・ 令和4年度の月別利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	11,049	9,302	16,423	15,327	11,189	16,009	13,895	13,240	6,307	6,763	6,520	7,514	133,538

・ 年度別利用者数

	← 前期指定期間 →	← 当期指定期間 →			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	—	—	44,337人	89,118人	133,538人
使用料収入	—	—	—	—	—

※ 平成27年度から利用料金制

※ 平成30年度および令和元年度は耐震等改修工事により休館していたため，利用者数の実績なし。

5 指定管理者の収支状況

← 前期指定期間 →

← 当期指定期間 →

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	委託料	7,469,000	187,068,547	181,850,466	186,262,000
	利用料金収入	0	13,181,710	26,373,050	31,456,300
	事業収入	0	1,227,750	2,476,681	2,145,787
	その他の収入	5,007,939	6,311,170	2,035,830	△ 428,936
	計	12,476,939	207,789,177	212,736,027	219,435,151
支出	人件費	8,762,853	41,334,804	42,235,572	44,234,016
	燃料費	0	82,322	114,963	117,981
	光熱水費	0	18,280,965	20,777,597	27,754,608
	委託費	462,000	115,429,566	117,796,768	118,980,228
	修繕費	253,000	993,662	1,243,110	1,572,079
	その他の支出	3,786,086	31,667,858	30,568,017	29,001,978
	計	13,263,939	207,789,177	212,736,027	221,660,890
当該施設の利用者一人 当たり税金投入コスト		—	4,219	2,040	1,394

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有

ア 管理業務実績報告書を毎月提出、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 利用者アンケートを実施

ウ 評価シートによる自己評価を実施

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等による毎日の施設巡回および適切な維持補修を実施している。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に努め、各種ガイドラインを遵守し事業を開催し好評を得た。 ・危機管理マニュアルおよび緊急連絡網を作成し緊急時の体制を整備している。 ・利用許可申請の受付、許可は、独自システムの導入により迅速に行うとともに、利用者から使用内容を詳細に聞き取り、適宜アドバイスを行うなど適切に行っている。 	<p>コロナ禍の中ではあったが、使用件数は前年より増加傾向にあり、北海道・函館市からの指導に基づき各種ガイドラインを参考にしながら感染対策を行い、館の運営を行った。</p> <p>今後はアフターコロナを意識し、館の運営に努めていきたい。</p>
サービスの 質の状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーや接遇対応マナーを学んだ職員が、新入社員へOJTを行い接遇の向上に努めているほか、応急手当普及員講習会、当財団内研修、労務関係研修等を受講し、職員の資質向上に努めている。 ・個人情報を含む書類は、キャビネットに保管したうえで施錠し、管理している。 ・アンケート箱の設置、利用者懇談会、事業実施時のアンケート調査により利用者の要望を把握しその反映に努めている。 ・当財団独自に作成している無料広報誌をはじめ、ホームページや地元新聞、LINE等を活用し、積極的に情報発信を行っている。 	<p>コロナ禍により各種研修会への参加が難しかった中でもOJT等で職員の資質向上に努めた。また、引き続きコロナ対策を利用者と共に取り組み、利用者に理解をいただきながら喜ばれる館の運営を行い、利用促進につなげていきたい。</p>
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支および経営状況ともに適正に行っている。 	<p>今後においても、事業収支および経営状況ともに、よりいっそう適正に行うとともに、安定した事業運営に努めていく。</p>

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・接遇や舞台芸術に関するものをはじめ様々な研修を受講し、施設の管理運営が円滑に行われるような実施体制を整えるとともに、委託の舞台技術員が常駐し、貸室利用の質問や要望に対応している。</p> <p>・自主事業で実施した公演では多くの来場者を動員し想定以上の収益を得るなど効果を上げており、その収益は施設の管理運営のため収入に繰り入れていただいている。</p> <p>・市民文化祭では、脚本から出演全て市民創作によるミュージカルを実施するとともに、市内の演奏家や近隣の飲食店との協働によるアフタヌーンステージや、市内の作家との協働によるアートマルシェを開催するなど、市民等との連携により事業を実施している。</p> <p>・毎日施設の巡回を行い異常がないか確認を行うとともに、近隣住民のため敷地外の落ち葉の清掃にも積極的に取り組んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は依然として残るものの、令和2年度および令和3年度に比べ、利用者数、利用料金収入ともに増加しており、主催事業についても計画されたものは確実に実施されていた。</p> <p>平成29年度から令和元年度まで実施した耐震等改修工事では、屋上および外壁の修繕を行えなかったことから一部雨漏りが発生しており、利用者へ影響を及ぼさないかが懸念であり修繕について検討する必要があるが、指定管理者には、異常等発生時の市への報告を引き続き行っていただき、状況を注視していただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが5類へ引き下げられたことにより、令和5年度以降は利用が増加していくことが予想されるが、今後来館者が安全に安心して利用できる環境の保持に努めていただくとともに、多種多様な事業を実施することにより、市民の文化芸術活動の場や、市民が文化芸術に触れる機会の提供を図り、親しみを感じられる施設の運営に努めていただきたい。</p>
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・令和4年度は、新たに職員1名が応急手当普及員の資格を取得するなど、職員の資質向上に努めている。</p> <p>・ホームページ、広報誌、地元新聞等に加え、令和4年度からはLINEによる広報を開始し、新たな広報媒体を取り入れ情報発信に工夫がみられる。</p> <p>・市民文化祭の舞台部門では、障がいを持つ方の出演によるミュージカルを開催したほか、展示部門においても特別支援の学校の生徒の作品を展示するなど、障がいを持つ方の社会参加および多様性理解の促進に繋がる事業を展開している。</p> <p>・ホームページに「コンベンションお役立ち情報」として近隣の宿泊施設や仕出し屋等の情報を掲載するとともに、「アフタヌーンステージ」で観客へ提供する飲み物を近隣の飲食店へ発注するなど、地域に対する貢献を行っている</p> <p>また、地域のボランティア清掃への参加のほか、函館マラソン開催時に近隣の町会や温泉組合とともに職員がエイドの応援業務に参加するなど、地域活動に積極的に参加している。</p>	<p>令和4年度は、応急手当普及員の資格取得者が1名増え、その他接遇研修、アートマネジメントに関する研修、管理職向けの研修など様々な研修を受講し、職員の資質向上に努めていた。</p> <p>ホームページや広報誌等による情報発信のほか、新たにLINEの活用を開始し、これまで以上に積極的に旬な情報が発信されることを期待する。</p> <p>利用者懇談会での意見・要望については、公共性の確保の面等から対応が困難なものもあるが、指定管理者として対応可能なものについては検討を進めていただくとともに、今後とも積極的に利用者の声を収集し、利用者の満足度の向上に努めていただきたい。</p>
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<p>・事業収支は適正であり、経営状況はおおむね良好である。</p>	<p>今後も適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。</p>

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。